年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 国語 科目 文学探究２

教 科： 国語　　科 目： 文学探究２　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 大修館書店『文学国語』 ）

教科 国語 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に着け、使いこなすこと。

【思考力、判断力、表現力等】 言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。

【学びに向かう力、人間性等】 言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目 文学探究２ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	小説「日常への視点」 教材『鍋セット』 ・場面の展開と登場人物の変化を的確にとらえる。 ・会話や描写をふまえて解釈を深める。	・登場人物の行動や会話、情景描写に着目しながら、人物相互の関係性や心情の動きを読み取る。 （使用教材：教科書、単語帳、国語辞典、端末 等）	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	3
	小説「寓意と象徴」 教材『 赤い繭』 ・文体の表現の特色をとらえ、展開のしかたを味わう。 ・作品の寓意を考察し、批評性や象徴性をとらえる。	・象徴的な語句や場面表現に注目しながら、作品全体の構成と主題との関係を読み取る。 （使用教材：教科書、単語帳、国語辞典、端末 等）	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	6
	随想「文化と伝統」 教材『藤』 ・語り手の視点や描写の工夫に着目し、作品に表れた心情や人間像を的確に読み取ることができるようにする。	・語りの視点や描写の特徴を整理しながら、登場人物の内面や人間関係のあり方について考える。 （使用教材：教科書、単語帳、国語辞典、端末 等）	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	小説「時代と表現」 教材『舞姫』 ・作品の舞台設定をふまえて、人物の心情の変化をとらえる。 ・文語文の文体や表現を味わう。	・近代日本の時代背景を手がかりに、主人公の行動や心理を読み取り、作品が描く価値観や人間の生き方について考える。 （使用教材：教科書、単語帳、国語辞典、端末 等）	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
後期	小説「見知らぬ世界へ」 教材『冥途』 ・作品における語りや描写の特徴を踏まえ、不安や違和感といった感覚がどのように表現されているかを読み取り、作品の主題について考察することができるようにする。	・語り手の視点や描写表現に着目しながら、物語の展開や作品全体に漂う雰囲気を読み取り、作者独自の表現方法と主題との関係について考える。 （使用教材：教科書、単語帳、国語辞典、端末 等）	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	15
	小説「見知らぬ世界へ」 教材『伊豆の踊子』 ・登場人物の言動や情景描写を基に心情の変化を捉え、作品に描かれた人間関係や価値観について理解を深めることができるようにする。	・情景描写や人物の言動に着目しながら、主人公の心情の変化や作品に描かれた人間関係を読み取り、作品の背景や主題について考察する。 （使用教材：教科書、単語帳、国語辞典、端末 等）	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	問題演習 教材「力をつける文学読解Plus」 ・大学入試問題を通して文学的文章の読解に求められる力を実践的に活用し、登場人物の心情把握、表現の分析、主題の解釈を総合的に行う力を高める。	・大学入試問題における文学的文章（小説・随筆）を題材に、登場人物の心情把握や表現の効果、作品の主題に関する設問に取り組み、読解力を実践的に鍛える。問題演習を通して設問の意図を的確に捉え、根拠に基づいて解答する力の向上を図る。 （使用教材：問題集、教科書、単語帳、国語辞典、端末 等）	○	○	○	【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】を各観点に基づいた学習のまとまりごとにA，B，Cで評価し、学年末に５段階評価の評定にまとめる。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価する。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
										合計 78